

Discover your potential

海外留学を諦めない
海外で成長する自分を体験
して欲しい

“マレーシア留学”
日本と同じ費用で
イギリスと同じ授業を
受けられるグローバル
化に対応した
留学スタイル



マレーシア留学支援機構



留学で成長する自分を、
異文化交流の楽しさを、
日本に居る全ての人達に、体験してほしい。
海外留学を、諦めない。

そんな思いから、当社はスタートしました。
いま、世界で大人気の留学先なりつつあるマレーシア。
一方で、日本ではまだまだ新しい留学先で、情報量が追いついていません。

当社はスタッフ全員が、マレーシア正規留学語学留学ビジネスの経験者。
我々は、本気のアナタを全力でサポートします。

マレーシア留学支援機構が選ばれる6つの理由

POINT 1

学生一人ひとりにあった留学プランのご提案

当社スタッフはマレーシア留学の経験者です。
また、マレーシア現地オフィスを持ち、現地の日本人学生100名以上との交流を現在も保っております。
現地学生の生の声、最新の情報を反映し、学校と宿泊先を一緒にご相談。
あなたの理想に最も合った留学プランを、オーダーメイドで作成します。

POINT 2

安心の現地サポート

当社は、マレーシア現地に日本人スタッフが常駐しています。
スタッフは、実際にマレーシアに暮らし、マレーシアの学校生活も経験したアナタの先輩。
マレーシアでの暮らしのトラブル解決は勿論、学業に関するアドバイスだってお任せ下さい。
他社エージェント様のような外注スタッフ、外国人スタッフには出来ない、
マレーシアをよく知る留学のプロだから出来る、マレーシア現地 NO.1のサポート体制をお約束します。

POINT 3

留学中の無料アドバイスの提供

当社は日本のスタッフ、マレーシアのスタッフ、どちらも全員がマレーシアにて留学 / ビジネスの経験者です。勉強の仕方、生活用品の揃え方、オススメのレストランや旅行先、通しか知らない穴場スポットまで ...。現地に行ってから数年掛からないと身につかない情報を元に、現地スタッフがどんなアドバイスにもお答えします。どのスタッフにも電話/LINEでの気軽な連絡が可能で、日本一フレンドリーな留学エージェントを目指しています。

マレーシア留学支援機構が選ばれる6つの理由

POINT

4

徹底的に調査・視察した学校のみのご紹介

当社でご紹介している、大学 / 語学学校は、全て私たちが実際に調査 / 視察した学校です。実際に足を運び、授業を見て、生徒の口コミを聞き、徹底的に調べているからこそ、あなたの疑問に自信を持って説明、回答できます。あなたの人生の大切な1ページに関わるイベントだからこそ、手間暇を惜しみません。さらに私たちは、常に現地の日本人学生との綿密なやりとりを行っておりますので、ネット上ではわからない学生の本音の評判を元に、あなたにあったプランを提供させていただきます。

POINT

5

就活支援も徹底サポート

多くの学生の皆さん、同時に留学エージェントの方すら勘違いをしていることがあります。留学は、「すること」がゴールではありません。「留学すること」が、新たな人生のスタートなのです。当社は、他社の様に「現地に学生さんを送ったらそれで終わり」、というような事は絶対に致しません。当社は、豊富な学生ネットワークを通じた「学生の就職実績」もどこよりも多く把握していると自負しております。人材会社ご協力の元、「学生向け就活講座」、その場で正規採用 / インターン採用も決まる「合同面接会」いずれも、マレーシアでは当社のみが行っております。社会人留学の方も、社内昇格の為に TOEIC対策、転職の為に海外インターン実例など、実績を元にご相談させていただきます。あなたの留学経験を、その後の人生に最大限に活かす。当社は就活支援を得意としております。

POINT

6

良心的な価格設定

あなたの留学を最大限応援するため、コストを抑えたご案内を致しております。なぜ、そんなに安く出来るのか？当社はマレーシアに精通したスタッフのみの少数精鋭・当社だけのオフィスを持たない徹底したローコスト経営で運営しており、ありがたい事にお客様からのご紹介が多いので、運営できております。広告にお金をかけず、また当社は紹介料に左右されず、あなたに最もあった学校をオススメさせて頂いております。マレーシアの魅力は、「世界一コスパが良い留学先」ということです。その魅力を最大限に生かすため、留学するまでの費用を出来るだけ抑える努力をしております。

マレーシアが選ばれる4つの理由

マレーシアが選ばれる4つの理由

1

POINT

準公用語にもなっている高い英語力が身につく

マレーシアの大学

【入学時の英語力】

最低基準 IELTS 5.0
(TOEIC:600点相当)

【入学後の実践英語】

授業における
アカデミックな英語

日常生活における
実践的な英語

必須インターンシップでの
ビジネス英語

即戦力として活躍できる実
践的な英語力を身につけ
ることが可能

【日本企業が求める英語力】

TOEIC
600点

楽天

TOEIC
730点

ソフトバンク

TOEIC
800点

サムスン

日本の大学

【入学時の英語力】

なし

【入学後の実践英語】

小単位の英語授業

日常生活で英語の使用なし

インターンシップでの
ビジネス日本語

日本では身につかないリアルな英語を身につけるのに最適なマレーシア

マレーシアが選ばれる4つの理由

2

POINT

日本企業の就職にも抜群に強い

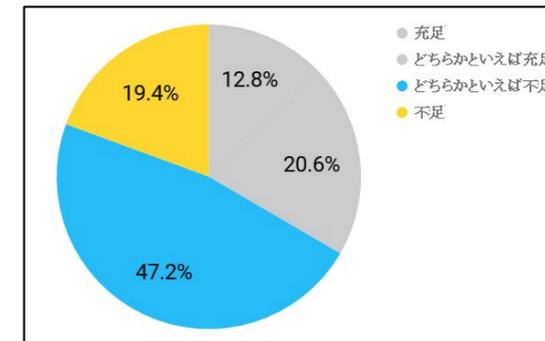
日本企業の海外進出拠点ランキング

- 1位 アジア (約70%)
- 2位 北米
- 3位 西欧

進出国別ランキング

1位に中国と2位にアメリカが
ランクインするも
それ以下のランキングをほぼ **東南アジア**が占める

海外進出企業のグローバル人材の確保状況



- ・海外進出に伴うグローバル人材採用の積極化
- ・東南アジアでの経験が評価されやすい傾向にある
- ・日本企業のグローバル人材の不足

日本企業も評価するグローバル人材の需要の増加

比較

マレーシアが選ばれる4つの理由

3

POINT

日本の約半分の生活費で生活できる高いコストパフォーマンス



私立大学4年生 一人暮らし生活費

家賃	¥58,000
光熱費	¥6,000
食費	¥30,000
交通費	¥4,500
通信費	¥8,000
雑費	¥15,000
合計	¥121,500

Sunway大学2年生 一人暮らし生活費

家賃	¥36,000
光熱費	家賃込
食費	¥25,000
交通費	¥5,000
通信費	¥800
雑費	¥2,500
合計	¥69,300

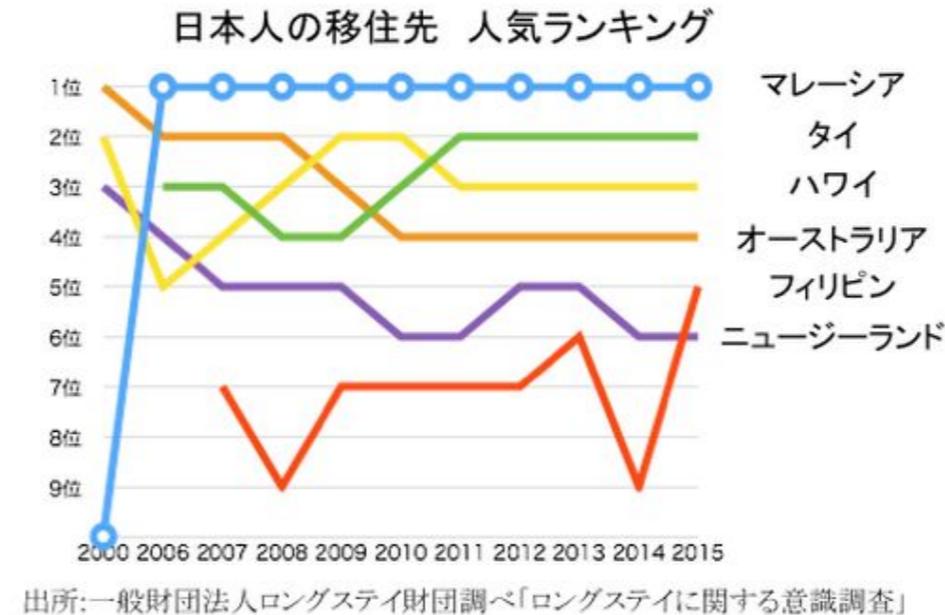
マレーシアが選ばれる4つの理由

4

POINT

安心できる治安の良さ&生活のしやすさ

なぜマレーシアは移住先ランキング1位なのか？



アジアの中で治安の良さランキング上位

インフラ設備が整っている(交通機関)

物価の安さ(日本のおおよそ3分の1)

生活の質(KLの都会化により買い物に困らない)

親日国のマレーシア人の国民性

- ・KL内や住宅地にも警察やガードマンを配備、治安改善の取組を強化している
- ・生活の質を落とさずに生活費を抑えられる魅力的な国として評価されている

大学紹介

比較

大学生の授業料比較

日本の私立大学(4年間)の平均合計金額と
マレーシアの私立大学(3年間)の平均合計金額の比較になります。



私立大学文系4年間平均



¥3,965,807円



テイラーズ大学 International Business & Marketing



¥2,776,730円



サンウェイ大学 Business Studies



¥2,732,723円



インティ大学 Business (Marketing)



¥2,361,510円



ヘルプ大学 Business (Marketing)



¥2,204,684円



モナッシュ大学 Business and Commerce(Management)



¥3,681,471円



アジアパシフィック大学 Bachelor of Business Management



¥2,549,012円

テイラーズ大学

マレーシアの私立大学の中で最も歴史が深く、多様な学部が揃っているのが特徴の総合大学です。

文系理系問わず教育レベルが高く、世界でトップ%の難関校です。

メインキャンパスのレイクサイドキャンパスは、10年前に完成したばかりでマレーシア随一の綺麗さを誇ります。



観光・ホスピタリティ学部が人気

フランスの名門、トゥールーズ大学とのダブルディグリー制度を導入し、マレーシアに居ながらフランスの名門大学の卒業資格も取れる「ホスピタリティ学部」と「観光学部」が人気です。ホスピタリティ学部は、2019年の世界大学ランキング4位にランクインしました。

設備の整った美しいキャンパス

キャンパスの豪華な設備や、欧米大学監修の下で作られた専門性の高い豪華な設備を見れば、他大学よりもしっかりと設備投資していることに納得ができます。

手厚いインターンシップ・就活サポート

ほとんどの学部で、卒業までに2回以上のインターンシップ経験が必須とされており、実践的な学びに重きを置いている学校です。



サンウェイ大学

マレーシアの大企業グループ、サンウェイ財閥が運営する総合大学です。

運営母体であるサンウェイ財閥は都市開発、ホテル、病院運営などを行う企業グループで、実社会との繋がりが深く、

インターンシップや就職活動の際に様々なチャンスがあるのが特徴です。

ビジネス学部で定評あり

運営母体のサンウェイ財閥は、様々な業種でビジネスを成功させています。それ故ビジネス系の学部で定評があり、最も人気です。「ダブルディグリープログラム」や、アメリカ系大学に編入可能な「ADTP」も充実しています。

名門校のダブルディグリーが可能

ビジネス系の学部を中心に、世界大学ランキングトップ%のイギリスの名門校「ランカスター大学」や、オーストラリアの「ビクトリア大学」の学位をダブルディグリープログラムで同時取得することが可能です。

生活設備が一つの街で完結

街全体がSunwayグループにより設計・開発されているため、大学・住まい・レストラン・買い物先が全て専用通路・専用モノレールバスで結ばれており、大変便利です。



インティ大学

「University」と「College」2つの名称を持つINTI International University & Collegeは、
大学1つとカレッジ4つの計5キャンパスを持つ総合私立大学です。
キャンパスごとに開講されているプログラムが異なり、豊富な学部の中から選ぶことができます。



豊富な学部、かつ高い専門性

5つのキャンパスにはそれぞれ別の学部が細分化されて設置されており、ホスピタリティ学部やT学部などの専門性の高い学部の学校設備・授業も整っているのが特徴です。

編入制度が充実

国外への編入・卒業進路の選択肢が多いことが最大の特徴です。特にアメリカへの編入に強く、2~3年次に編入できる欧米(アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリア等)の提携大学は100校にものぼります。

マレーシアで名門校の卒業資格を

ビジネス学部はオーストラリアのウーロンゴン大学、ホテルマネジメント学部はオーストラリア名門のブルーマウンテンホテルマネジメントスクールなど、マレーシアにいながら名門大学の学位を取得できる制度が豊富です。



ヘルプ大学

ビジネス学部や心理学部などの社会学部が強いことで有名な、マレーシアの中では比較的新しい私立大学です。
他大学に比べて学費が安く、マレーシア留学の特徴であるコストパフォーマンスの良さを最大限に活かすことができます。
また、イギリス・オーストラリアの名門校の提携校が多く、欧米での卒業を目指す方へオススメの大学です。

社会科学(文系)に定評あり

提携校の選択肢が多いビジネス学部と、マレーシアの私立大学で初めて開講された心理学部が人気です。
どちらの学部も座学中心の詰め込み授業がメインで、そのひたすら真面目な勉強スタイルが、実力のある学生を生み出すと定評があります。

世界ランク上位校への編入が可能

そんな学生レベルの高さが評価され、イギリス・オーストラリアの名門校の提携校が多く、クイーンズランド大学、ロンドン大学、メルボルン大学、オーストラリア国立大学など、世界ランク上位校への編入先も用意されています。

コストパフォーマンスが良い

他大学に比べて学費が安く、マレーシア留学のコストパフォーマンスの良さを最大限に活かすことができます。





Monash University

モナッシュ大学

モナッシュ大学は、世界ランク100位内に位置するオーストラリアの歴史ある超名門大学です。
マレーシア分校の学費はオーストラリア本校の1/3程度に設定されており、更にマレーシアの割安な生活コストも加わり、
極めてローコストで豪州名門大学への留学が可能となっています。



世界ランクTOP 100位以内の名門大学

主要な世界大学ランキングでは5位(QS)、74位(THE)と、日本では東大と京大の間に位置する名門大学です。また、オーストラリア本校はもちろん、イタリア分校などにも~2学期のあいだ交換留学できます。

授業のレベルが高い

名門の総合大学らしく、文系・理系に関わらず、全ての学部のレベルが高く人気です。
ただし、全ての学部が同じ様に入学基準が高く、求められる英語力や成績が高い傾向にあります。

生活設備が一つの街で完結

街全体がSunwayグループにより設計・開発されているため、大学・住まい・レストラン・買い物先が全て専用通路・専用モノレールバスで結ばれており、大変便利です。



Asia Pacific University

アジア・パシフィック大学

APU(アジアパシフィック大学)は、IT産業で活躍する人材を輩出するために生まれた技術系の学部定評のある大学です。
近年は技術系の学部だけでなく、ビジネス学部の人気も高まりつつあり、
全学生の内60%が120カ国から集まる留学生という、マレーシアの中でも最も国際色溢れる大学のつです。

留学生比率が高い

全学生の内60%が120カ国から集まる留学生という、マレーシアの中でも最も国際色溢れる大学のつです。
正規留学生だけでなく、各国からの交換留学生も多く、国籍・専攻を問わず様々な出会いの機会が多い大学です。

技術系とビジネス系の学部定評あり

ITや工学などの理系に強い大学ですが、近年は経営、会計、金融などのビジネス系の文系学部も人気が高まりつつあります。

2016年に完成した新しいキャンパス

理系の学部ではIT分野の世界大会で活躍するほどの設備・教育レベルを持っており、文系のビジネス学部でも資格習得やコマースに関する授業選択も可能と、専門性を持つための設備とカリキュラムが豊富な学校です。



宿泊先

シェアハウスとは？

SHARE HOUSE

自分のお部屋とは別に、共同利用できる共有スペースを持った賃貸住宅のことで、共同住宅ならではの「共有」と「交流」を楽しめるあたらしい住まいの形として外国人、日本人を問わず認知されています。日本人学生も最初の数ヶ月で友達を作り、シェアハウスに住まわれる方が非常に多いです。マレーシアのシェアハウスは寮と同じ費用でプールやジムがついているところもありおすすめです。

費用が安い

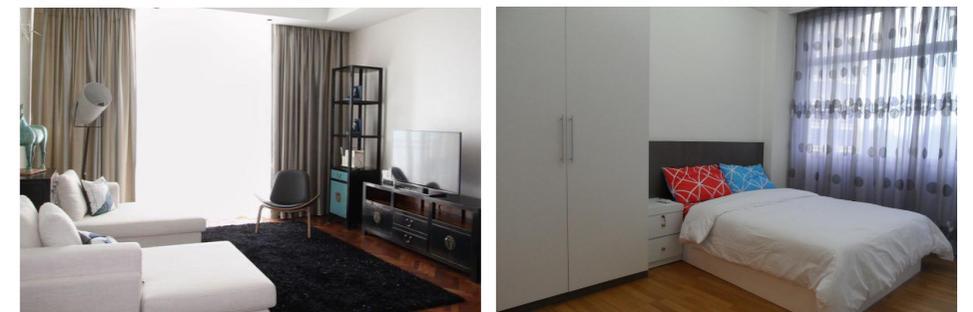
日本に比べて費用が安いのが特徴です。都市部に住んでもひと月3~4万円で住むことができます。マレーシアの日本人留学生はほとんどが半年以内に友達を見つけてシェアハウスに住む傾向があります。

セキュリティーもしっかり

女性の方は特に不安なセキュリティーもばっちりです。ロビーには警備員がついていて、カードがないとエレベーターが作動しない場所も多いです。

充実した設備

安くても充実した設備があるのがシェアハウスの特徴です。特にほとんどの場所でプール・ジムがついていますので、気分のリフレッシュにはおすすめです。



学生寮

STUDENT DORMITORY

学生寮は同じ大学の他の学生と共同で生活します。各大学によって設備の充実度が全く違うのは日本と同じです。

はじめの一年間は寮に住み、友達をみつけてシェアハウスに移るケースが大半です。

各国から来る留学生と一つ屋根の下での共同生活は良い意味でも悪い意味でも刺激が豊富にあります。



世界各国の留学生との共同生活

地元マレーシアの学生を含めて様々な国からの留学生との共同生活を体験できます。様々な文化や習慣を持ったとの共同生活は、良くも悪くもサバイバル能力や適応力を磨くのに最適な空間です。

大人数で過ごせる

マレーシアの学生寮では4人部屋や8人部屋は珍しくありません。大人数と一気に身近な関係になれるのは学生寮の魅力の一つです。

大学周辺で全ての生活ができる

学生寮はもちろん大学内もしくは周辺にあります。外食施設も大学周辺には多く存在しているので、寮にいると外にでる必要がなくなります。多くの体験は



サポート内容

出発前基本サポート内容

マレーシア留学支援機構では、対応スタッフ全員がマレーシアでの留学や仕事の経験があります。

マレーシアを知り尽くしたスタッフによる現地サポートも豊富で、安心です。

豊富な知識でのサポートもマレーシア留学支援機構が選ばれる理由の一つです。

基本サポート内容

個別カウンセリング
希望大学への事前合否打診
滞在・宿泊先お手続きサポート
志望大学の費用お見積もり
出願書類作成サポート
ビザ申請サポート
マレーシア大使館へのシングルエントリービザ申請代行別途費用)
留学保険ご加入手続き
航空券手配アドバイス
クレジットカード・国際キャッシュカードのご紹介

※1 基本サポートは右記のどのプランにも含まれています。※2 詳しいサポート内容に関しては当方へ直接ご確認ください。

留学中 / キャリアサポート

主なサポート内容	スタンダードサポートプラン	シンプルサポートプラン
サポート費用	¥198,000(定額)	¥2,980/1ヶ月
個別カウンセリング(学校・学部選び、留学準備の相談)	○(入学前～卒業まで無制限)	有料オプション
希望大学への事前合否打診	○(無制限)	有料オプション
志望大学の費用お見積もり	○	○
出願書類作成サポート	○	○
ビザ申請サポート	○	○
eVAL申請サポート	○	○
シングルビザ申請サポート	○	○
マレーシア大使館へのシングルエントリービザ申請代行別途費用)	有料オプション	有料オプション
マレーシア留学経験との留学前の予習クラス	有料オプション	有料オプション
滞在・宿泊先お手続きサポート	○	有料オプション
留学保険のご紹介(自由選択)(実例付き)	○	○
クレジットカード・国際キャッシュカードのご紹介(実例付き)	○	○
海外送金、仕送り方法の銀行・プラン比較のご紹介(実例付き)	○	○
航空券手配アドバイス	○	○
学生ビザの現地更新サポート	○	-
学部変更サポート	○	-
キャリアサポート(就活生/OBOGとの情報交換/個別カウンセリング)	○	-
現地サポート(生活、学業、英語のことまで何でもご相談下さい。寮の契約更新、レポートの参考文献の付け方、旅行先のオススメのレストランまで、お気軽にご相談を頂いております。)	○	-
緊急サポート(現地で盗難・紛失、病気・事故、犯罪に巻き込まれた際、KL近辺150km以内であれば現地スタッフが駆け付けます)	○	-

留学前

留学中
&
帰国後

比較

サービス内容

マレーシア留学の強みである安さを最大限活かす留学支援を行うために
マレーシア留学支援機構では充実のサポートを適切な価格で提供します

	留学エージェントA社	留学エージェントB社	マレーシア留学支援機構
サポート料金	45万円	30万円	19万円
海外窓口	代理店スタッフ対応	代理店スタッフ対応	現地スタッフ対応
学校の オススメ	紹介料に応じて紹介	紹介料に応じて紹介	最適な学校の紹介
学校選び	学校に訪問した際の 印象を紹介	学校のパンフレット を元に紹介	実際に通っていた 卒業生/現役生による紹介、 現地学生200名以上の 実際のヒアリングを元に紹介
サポート内容	日本に居るスタッフの 現地生活サポート	大学に送るまでサポート	マレーシア留学経験者による 現地生活フルサポート
航空券	提携先のみ	自由選択	自由選択
留学保険	提携先のみ	提携先のみ	自由選択

出発までの流れ

出発までの流れ

1年前～半年前

- 🔍 情報収集をしましょう
情報収集をしましょう
- ✅ 自分に合った学校を調べましょう
自分に合った学校を調べましょう
- 📄 留学エージェントを探してみましょう
留学エージェントを探してみましょう
- 📄 留学費用を計算しましょう
留学費用を計算しましょう

半年前

- 🔍 手続きを始めよう
願書やビザなど手続きに時間がかかりますので、早めに手続きを開始しましょう
- ✅ 可否診断をしよう
希望する大学に、高校の成績やIELTSのスコアをもとに可否の判断を行います。語学学校の場合は必要ありません。
- 📄 入学書類の準備をしよう
希望する学校に出願書を提出します。本人記入フォームは全て英語になるので、記入例をお渡し、簡単に書いて頂けるようにしています。
- 📄 入学手続きをしよう
大学に指定された形・枚数で、出願書・成績証明書(英文・和文)・推薦状・アピールの為にエッセイなどを提出します。必要な書類は変更になることも多く、大学や移民局とのやり取りも全て英語になるため、当社が代わりに手続きを行います。
- 📄 ビザの手配をしよう
3ヶ月以上の滞在にはビザの手配が必要です。自分にあったビザと、そのための必要書類を手に入れます。その後、東京の在日マレーシア大使館にてシングルエントリービザの申請・受取が必要です。当社では代行サービスを行っております。

3ヶ月前

- 🔍 滞在先を決定しよう
学生寮、シェアハウス、ホームステイなど、お客様ご自身にあったお住まいをご案内致します。
- ✅ 航空券の手配をしよう
航空券は早く取得すればすれほどお得です。早めに手配しましょう。購入のアドバイスも致します。(任意)
- 📄 留学保険に加入しよう
ご利用用途やご予算合わせて保険会社・サービスの選定ができるよう、ご案内します。保険会社の選び方は任意で、お客様ご自身で決めて頂いて結構ですが、渡航前に必ずいずれかの保険にご加入ください。

2ヶ月前

- 📄 クレジットカードを準備しよう
マレーシアで安全かつお得に現金・仕送りの受取をするため、現地学生が使っているクレジットカード・国際キャッシュカードのご紹介を致します。(任意)
- 📄 Wifi・携帯の準備をしよう
マレーシアで使用可能なWi-Fi・携帯の手配をしましょう
- 📄 海外移転の手続きをしよう
1年以上海外に滞在する場合は、国民年金・健康保険・税金などの手続きをしましょう

3日前

- 🔍 書類準備・持ち物の確認
- ✅ 空港到着後のやることを確認

出発

出発までの流れ

いざ出発



体験談



岩成咲良さん

Taylors University
テイラーズ大学(ホスピタリティ学部専攻)現在3年生。
鳥取県出身。敬愛高等学校卒業。
ホテルThe Ritz-Carltonでインターンを経験。現在コンサル業界を中心に日本で就職活動を行なっている。

体験談

”マレーシアでの豊富な挑戦機会”

「マレーシアでの豊富な挑戦機会」

マレーシアではインターンシップが必須のため、私はリッツカールトンというホテルで働く経験を得ることができました。ホテルでのインターンシップを通して日常会話・アカデミックレベルの英語だけでなく**ビジネス英語力も身についた**と思います。また、個人的にマレーシア日本人学生会という組織へ参画したことも自分を成長させる良い機会となりました。学生会の主な活動内容はイベント企画で、イベント準備を通して日本人・マレーシア人関係なく、社会人の方との話し方、メール・営業・資料作成・ビジネスマナーなど豊富な知識や経験を得ることができました。初めは全く経験がない中で、自分に何ができるのか分からず不安ばかりでしたが**やってみると案外形になるものなんだ**と知りました。挑戦することは不安で仕方ありませんでしたが、マレーシアへの留学もインターンシップも学生会も、いざやってみるとできるものです。同時に、自分にはできないこと・向かないことははっきり見えてきます**何ができて何ができないのか、そして何がやりたくて何がやりたくないのか**これがわかる価値はすごく大きいです。私自身ホスピタリティ学部として旅行・観光分野の勉強をしていましたが、今は全く違うコンサル業界をメインに就職活動をしています。これも全て不安がありながらも挑戦した結果、自分なりに出した答えです...続きはwebサイトから

「後輩たちへ一言」

海外進学に興味はあるけど「海外経験がない」「英語力に自信がない」となかなか踏み切れない人もいるかと思います。で**経験・自信がないからって挑戦することを避けてしまったらとても勿体ない**です。自信は挑戦した後についてくるもので、逆に何も**行動を起こさなかったら成長も得られないし自信もないまま**ですよ。海外に目を向けて大学進学にまで興味を持っている時点で凄いことだと思うので、ぜひその道を諦めず飛び出してみしてほしいと思います！



体験談

”マレーシアへの進学を選択した理由”

「なぜマレーシアの大学にしたのか」

高校時代は周りの同級生と同じように、日本の大学に行くことしか視野になく、オープンキャンパスには専門学校も含め20校以上行きました。しかし、「英語を本気で学びたい」と考えていた私にとって、どの日本の大学の英語教育でも足りないと感じました。せっかく授業料を払って大学に行くなら、英語をシャワーのように浴びれる環境の方が良いと思い、留学を視野に入れ始めました。そこで、留学について情報を集めていた時に、トビタテ！留学APAN(文科省が展開する海外留学支援制度)の会合で、ひときわギラギラ輝く留学生の方がいらっしゃいました。

各国に留学生が集まる中でも、彼が最も熱意があり、聞くとマレーシアで留学しているといえます。最初はオーストラリアやカナダの留学を考えていましたが、すっかり彼の留学エピソードに夢中になり、それをキッカケにマレーシア留学に興味を持つようになりました。「英語を本気で学ぶ」に加えて、「料理を本気で学ぶ」

この2つが、私にとって大学選びの基準でした。しかし、日本で学校を選ぶ場合、料理のことについて学ぼうと思うと専門学校。英語を学ぼうと思うと、大学。「英語」か「専門性」、どちらかを諦めるしかない状況に置かれていました。そこで出会ったのが、マレーシア留学という選択肢です。マレーシア留学なら、英語と専門の勉強の、どちらのスキルも伸ばすことができる進路をマレーシアに確定させた瞬間でした。...続きはwebサイトから

「後輩たちへ一言」

日本の進路選択のカタチにとらわれないで欲しい。人と違うルールを堂々と歩いて欲しいと思います。敷かれたレールだけでなく、自分で新たなレールを敷いていく選択肢があることも知ってほしいです。私の高校のクラスメイト達は、日本各地の地方大学に散らばっていききました。「国立なら、学費も安いし、勉強に集中できる」と理由で、受験をしていたようですが、その理由ならマレーシア留学の方がメリットがより大きいような気がします。また、私の通うNTI大学には、日本の大学受験に失敗したり、浪人経験がある日本人学生が多いのですが、みんな早くマレーシアに来ていれば良かったと言います。受験の勉強はとにかく辛かったのですが、こちらでは楽しみながら勉強ができるからだと思います。日本で受験に失敗したら、そのままマレーシアに来れば良いと思います。



西川 花梨さん

現在、INTI大学 Diploma in Culinary Arts1年生。
長野県 諏訪市出身。諏訪二葉高校 卒業。トビタテ！留学JAPAN 高校生コース第3期生。
フィリピンにてボランティア、語学留学を経験した後、マレーシアに渡る。

体験談

”マレーシアでの豊富な挑戦機会”

「マレーシアでの豊富な挑戦機会」

僕が通う大学は、オーストラリアに本校を置いたVictoria Universityです。キャンパスはSunway University内にあり、マレーシアで大学に通いながらオーストラリアの大学の卒業資格が得られるいわゆる「ツインニングプログラム」を採用した学校です。2学期制で、6月中盤～7月中盤、11月終盤～2月終盤での2回の長期休みがあります。オーストラリア本校と授業内容は全く同じなので、入学から卒業まで、3年間をマレーシアで過ごしても卒業資格は得られます。また、自由なタイミングでオーストラリアに短期留学も可能です。その際も、「2年マレーシア+残りの1年オーストラリア」「1年マレーシア+2年オーストラリア」「2年半マレーシア+最後の半年だけオーストラリア」など、フレキシブルに選択が可能です。僕は、オーストラリア側の卒業式に出てみたいので(笑)、最後の半年間だけオーストラリアのキャンパスで受講予定です。また、他の学部と比べると日本人が少ないのも特徴です。現在僕を含めて4人しか日本人がおらず、学年もバラバラなので同じ授業内に日本人が居ることはまずありません。その他にこの学部の特徴があるとすると、サマースクールの存在です。もし学期中に単位を落としてしまった場合、長期休み期間に開かれるサマースクールという授業を受けて、試験に再チャレンジできるというシステムで、もちろん、長期休みが返上になるので通常の学期内にキチンと単位を落とさないことにこしたことはありません(笑)続きはwebサイトから

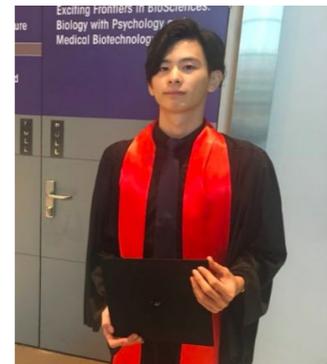
「後輩たちへ一言」

マレーシアの魅力は、なんといっても多民族国家であることです。英語はもちろん、中華系の友達を作れば中国語やその国の文化について学ぶことも出来ます。留学生の友達を作れば、その国の言葉を習得することだって出来ます。その気になれば、いろんなことに挑戦出来るのがマレーシアの魅力です。



仲 祐輔さん

現在、Victoria University (Sunway Universityのツインニングプログラム)1年生。
大阪府出身。Sunway大学英語コース、CIMP(ファンデーションコース)卒業後、現在の学部に入学。





お問い合わせ 「マレーシア留学支援機構」



マレーシア留学支援機構 LINE ID検索 : @uyo4335j



www.third-generation.co.jp



info@third-generation.co.jp

